

## 関 孝 和 三 百 年 祭 記 念 事 業 募 金 趣 意 書 ( 第 2 版 )

関孝和先生は世界に先駆けて行列式を発見するなど数学的業績を挙げ、算聖と称される日本が世界に誇るべき江戸時代の数学者(和算家)で、宝永5年10月24日(西暦1708年12月5日)に物故せられました。

二百年忌に相当する明治40年(西暦1907年)には、東京数学物理学会(日本数学会と日本物理学会の前身)が関流算法七部書の出版、年会における式典、本朝数学通俗講談会の開催、およびその講演集の発行、という記念事業を行いました。

昭和33年(西暦1958年)には、二百五十年祭として、日本数学会は記念学術講演会を開催し、また、お墓が東京都新宿区弁天町の浄輪寺にありますので東京都教育委員会、新宿区教育委員会等とともに墓前祭・講演会・記念事業(東京都史跡指定等)を行っております。これを機会に算友会が発足し、それが発展解消して昭和37年(西暦1962年)には日本数学史学会が組織されました。

西暦2007年12月5日は三百年忌にあたり、西暦2008年は三百年祭を開催すべき年となります。日本数学史学会運営委員会は一昨年度より、その準備を行うべく記念事業実行準備委員会を組織し、また、日本数学会も記念事業検討WGを立ち上げました。和算に関心をもつ各方面の方々に第1回記念事業実行委員会を昨年5月7日に開催することを通知しました。当日、全国から参集しました40名ほどと賛同の返事を出した者をもって実行委員会は発足し記念すべき年に、次のような記念事業を行うこととなりました。

1. 関 孝和 三百回忌法要(浄輪寺) 平成19年12月2日(日)(別記参照)
2. 博物館等における展示会 平成20年
  - 新宿区立新宿歴史博物館 1月~3月
  - 東京都江戸東京博物館 3月9日、11日~16日(ワークショップ)
  - 東京理科大学近代科学資料館 3月、4月、8月~11月
  - なにわの海の時空館 4月、5月
  - 国立科学博物館(日本の数学者展) 11月、12月
3. 国際研究集会(東京理科大学会場) 8月25日~31日
4. 講演会及び算数・数学教室(各博物館等)
5. その他関連事業

このような記念事業により、関 孝和先生の数学およびその後の発展を国際的に専門家および広く一般の人々に紹介すると共に、日本社会において江戸時代のように数学力を尊びその向上とその方面の人材育成を図りたいと考えております。なお、これらの記念事業を行うためには財政的裏付けも必要であり、競争的資金等の獲得にもつとめますが、募金活動も行うことになりました。 つきましては広く皆様のご支援、お力添えを賜りたく、本趣旨にご賛同くださり格別のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

平成19年(西暦2007年)11月吉日

関 孝和 三百年祭記念事業実行委員会  
日本数学史学会 代表 佐藤 健一  
日本数学会 代表 真島 秀行

募金発起人および賛同学協会

赤木 操	秋場 武晃	浅山 秀博	芦澤 登	飯高 茂
上野 健爾	内岩 望	内田 孝俊	内村 弘志	遠藤 寛子
大田 浩	大竹 茂雄	岡本 和夫	岡本 久	小川 束
小野 雄司	加藤 芳信	金児 正史	亀井 哲治郎	河澄 響矢
川瀬 正臣	北原 勲	北邑 一恵	公田 蔵	小島 定吉
小寺 裕	小林 龍彦	小林 秀雄	小松 彦三郎	桜井 進
佐藤 健一	佐藤 順子	佐藤 大器	澤田 利夫	柴 昌明
柴原 英雄	嶋田 秀樹	清水 布夫	下平 喜代子	杉本 敏夫
杉山 吉茂	鈴木 福蔵	鈴木 康志	瀬川 光政	関口 哲男
相馬 美貴子	竹之内 脩	高橋 秀裕	田中 健一	田辺 寿美枝
塚原 久美子	土倉 保	直井 功	長岡 亮介	中原 忠男
中村 信弥	中村 幸夫	中山 政三	鳴海 風	西田 知己
野崎 昭弘	野村 恵智雄	長谷川聖治	早坂 知秀	疋田 伸汎
一松 信	平岡 佳子	広瀬 泰雄	広中 平祐	深川 英俊
藤井 康生	藤田 宏	船倉 武夫	牧下 英世	牧野 正博
真島 秀行	増田 和彦	松本 堯生	湊 三郎	宮地 淳
宮本 由己雄	森本 光生	矢嶋 邦男	安富 有恒	山司 勝紀
山路 進	横塚 啓之	吉住 雅佳	吉田 宇一	米光 丁
渡辺 暉夫	渡辺 雅道	渡辺 純成		

日本数学史学会	日本数学会	日本数学教育学会	数学教育協議会
数学教育学会	日本応用数理学会	日本数学協会	

岩手県和算研究会	愛媛県和算研究会	岡山県和算研究会
神奈川県和算研究会	近畿数学史学会	近畿和算ゼミナール
群馬県和算研究会	長野県和算研究会	福島県和算研究保存会
山形県和算研究会	山梨県郷土数学研究会	和算研究所

## 関孝和三百年祭記念事業に関する募金要綱

### 1. 募金団体

関孝和三百年祭記念事業実行委員会

### 2. 募金の目的

展示会、国際研究集会、講演会、小中高校生対象の算数・数学教室、その他関連事業

### 3. 募金の目標額

三千五百万円

### 4. 募金地域及び対象者

法人および個人で本事業趣旨に賛同される方

### 5. 募金の期間

平成 18 年（西暦 2006 年）6 月から平成 20 年（西暦 2008 年）12 月まで

### 6. 寄附金額

個人の方は一口一万円以上、法人の方は五万円以上とさせていただきます。

### 7. 寄付金の振込方法

日本数学会事務局が管理する郵便局の下記の振替口座に振込をお願いします。

口座番号：00110-4-649800

口座名称：関孝和三百年祭記念事業

### 8. 募金にご協力いただいたかたには、資料および各種ご案内をさし上げます。

**共通図録「関 孝和の人と業績」(A4 版、モノクロ印刷)に広告を掲載できます。**

A4 縦 1 ページの広告は、8 万円、A5 横の広告は、4 万円

A7 横の 2 倍の広告は、2 万円、A7 横の広告は 1 万円

と料金を設定しております。募金振込用紙に、その旨を記載していただくとともに、データまたは版下を

[nogihen@kenseisha.net](mailto:nogihen@kenseisha.net)

に pdf ファイルをメールで送付くださるか、または、下記に郵送をお願いします。

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1 - 6 - 4

株式会社研成社 渡辺暉夫宛

広告掲載の締め切り日は、2007 年 12 月 7 日（月）となっております。

### 9. 事務局

社団法人 日本数学会 事務局

本会に対するお問い合わせにつきましては下記にお願いいたします。

（連絡先）

社団法人 日本数学会 事務局

東京都台東区台東 1 - 34 - 8

電話 03 - 3835 - 3483

和算研究所

東京都北区栄町 48 - 23 東書文庫ビル 1 階 電話 03 - 3927 - 9330

\* 上記の寄付金は、通常の一般寄付金の扱いとなります。